

## 長崎大の情報データ科学分野

# スタジアムシテイに大学院

通販大手、ジャパネットホールディングス(HD)、佐世保市)と長崎大は10日、同日Dが長崎市幸町で進める「長崎スタジアムシティプロジェクト」のオフィス棟に、同大が構想する情報データ科学分野の大学院キャンパスが入居すると発表した。オフィス棟のテナント第1号となる。



同プロジェクトは、敷地約7万5千平方メートルに、サッカースタジアムやアリーナ、ホテル、オフィス棟などを整備する計画で、2024年9月完成を目指す。オフィス棟は11階建て、延べ床面積約2万8700平方メートル。1〜3階を商業エリア、4階に同大大学院、5〜9階を企業のオフィス、10、11階は共用のワークスペースとして整備する予定。

## オフィス棟 入居第1号

同大は20年度、ビッグデータ解析や人工知能(AI)に精通した人材を育成する情報データ科学部を創設。1回生が卒業する24年度以降、修士課程が学べる大学院の新設を構想しているが、敷地の確保が課題だった。オフィス棟のワンフロアに大学院の教室や研究室を整備し、将来的に博士課程も合わせて200人規模の学生が通う見通し。

同HDの高田旭人社長と同大の河野茂学長が同日、文教キャンパスで基本合意書を交わした。高田社長は「企業側には優秀な人材の確保、大学側には実践的な学びの場の提供と双方にメリットがある」と強調。大手を含む複数の企業とテナントの交渉中とし「全国規模の企業が入ること、卒業後、長崎に残る学生が増えるといい」と期待した。

河野学長は「産学連携が一層促進され、地域貢献に大きく寄与できる」と述べた。(六倉大輔)